

会報



八王子学園同窓会

ご挨拶

八王子学園同窓会
会長 濱野 益 男

平素は同窓会の活動に対しご理解、ご協力を戴き誠に有難うございます。

さて、当同窓会も創立70余年を経て、会員数も35,000人を超える大きな組織となりました。卒業生は、戦前、戦中、そして戦後とそれぞれの環境のもとで勉学に努め本校を巣立って行った人たちです。

最近になって、私は卒業生の意識に変化が現れているように感じます。戦中、戦後の早い時期に卒業した生徒たちは、当時の世相に振り回され、授業も十分に受けられないような環境のもとで学校生活を送りました。しかし、その中で育まれた同級生、同窓生という連帯意識と愛校心は高かったと思います。

やがて世の中も落ち着きを見せ、本校の発展期を迎えました。昭和も40年代になると入学生、卒業生もうなぎ登りに増えました。しかしながら生徒数が増えるに伴い、卒業生の同級生、愛校心が希薄になった感じがします。

ただこれは本校だけの問題でなく、他の学校でも同じような傾向が見られると言います。高校卒業生のほぼ全員が大学を目指すようになった今、「高校生活は受験のためのプロセスの一部であって、高校生活に格段の愛着を持っているわけではない」という人もいます。加えて「大学での勉強、就職活動、結婚や子育て等々、多忙の中で同窓会どころではない」というのも分かります。しかし、多情多感の青春時代をともに過ごした友、何でも相談でき力になってくれる友は大きな財産であり大切にしたいと思います。

そんな話のある中、卒業してから何十年過ぎたあるクラスで、卒業以来途絶えていた仲間を集め、クラス会を立ち上げようと活動を始めたクラスがあります。卒業以来すでに長い年月を経てクラスメート一人ひとりの追跡調査はたいへんなことだと思いますが、是非成功させてみんなで総会に出席してくれることを願っています。

八王子学園同窓会副会長、藺古田泰義氏は平成25年3月17日逝去されました。藺古田氏は当会の会計、副会長を歴任され、学校法人の評議員および理事を務められました。また、同窓会会則、諸規約等の制定に尽力され、同窓会70周年記念誌発行委員として活躍されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご挨拶

学校法人八王子学園
理事長 稲村 松世

同窓会の皆様には、ご健勝で秋を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、今年ほど秋分の日を心待ちにした年も珍しいのではないのでしょうか。九月二十日には久しぶりに台風が通り過ぎ、強い風のために庭木が倒れたり、塀が壊れたりと被害を受けた家もありました。台風の中心が甲府の西を通過と、テレビで放送していたので八王子が一番風の強い部分だったのでしょうか。皆様のお家はご無事でしたか。

数年前から気候が変化してきました。春夏秋冬の季節がはっきり感じられる日本でしたのに、春と秋が短くなったようです。気候の変化は日本だけではないようで、地球上の各地で洪水や異常乾燥、竜巻の被害があるようです。地球の温暖化とは、このような思いがけない状態になっていくものなのではないでしょうか。

前置きが長くなりましたが、昨年度、高校生の中にはストレートで東大に入った生徒もいて、諸大学の入学者も以前より多い三月でした。中学校も二年目を迎え、運動会は市営の体育館ではなく日本工科大学の体育館をお借りして行いました。大変楽しい運動会で、中学校担当の先生方のご苦勞が偲ばれました。人間は動けば動くほど、頭腦の働きが冴えると聞いています。文武両道、どちらも大切なのです。

同窓会からクラブ活動に毎年たくさんの補助金をいただいております。インターハイは各都道府県の持ち回りのようで、各都道府県で競い合い、その代表がインターハイで争うのです。今年も多くのクラブが東京代表として戦って参りました。応援に行きたいと思いながら、何一つ実行できない私自身を情けなく思います。諸先生が真剣に生徒を指導して下さるのがありがたく、毎日感謝の気持ちで生徒たちの活動を見ています。

夏の異常な暑さから、秋が過ぎ冬には異常な寒さを経験するのではないかと案じられます。皆様のご健勝を祈り、末長い母校へのお力添えをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

八王子学園

八王子中学校・高等学校

校長 佐藤 寛文

同窓会会員の皆様におかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、本校創立以来、八王子学園八王子中学校・高等学校が発展し今日に至る間、クラブ活動や教育活動などに対する物心両面のご支援を頂き深く感謝しております。

平成 24 年度に中学校を開校し 2 年目を迎え、中学校は 6 クラス 178 名、高等学校は 40 クラス 1,504 名になりました。総在籍生徒数は 1,682 名（男子 780 名、女子 902 名）で学則定員 1,650 名より 32 名多いスタートになりました。

創立者の教育理念の深化を図り、文武両道の名門中高一貫校を目指します。志しの育成、国際化の対応を図り、生徒の多様なニーズに応じて文理特進コース、文理進学コース、文理普通コース、芸術コースの 4 コース制を採用しています。

今年の進学実績は、現役合格者が多かったこと、レベルの高い大学合格者数が増えたことです。卒業生がチャレンジし努力した結果です。

国公立大学は、東京大学現役合格 1 名、大阪大学 1 名、筑波大学 2 名、神戸大学 1 名、千葉大学 1 名、埼玉大学 2 名、横浜国立大学 8 名、東京医科歯科大学 1 名、東京外語大学 1 名、東京海洋大学 1 名、東京学芸大学 1 名、東京藝術大学 3 名、新潟大学 1 名、信州大学 3 名、山梨大学 2 名、大阪教育大学 1 名、岡山大学 1 名、山口大学 1 名、宮崎大学 1 名、鹿児島大学 1 名、茨城県立医療大学 1 名、首都大学東京 13 名の 48 名です。

医歯薬系大学は、東京医科歯科大学 1 名、北里大学 4 名、埼玉医科大学 1 名、東京薬科大学 9 名、明治薬科大学 4 名、東邦大学 1 名、東京医科大学 1 名、昭和薬科大学 2 名、帝京大学 2 名、昭和大学 1 名、日本薬科大学 2 名など 36 名です。

難関私立大学は、早稲田大学 18 名、慶応義塾大学 8 名、上智大学 12 名、東京理科大学 14 名の 52 名です。

有名私立大学は、明治大学 64 名、青山学院大学 31 名、立教大学 37 名、中央大学 63 名、法政大学 85 名の 280 名です。

この他に、日本大学 83 名、東洋大学 26 名、駒澤大学 25 名、専修大学 56 名の 190 名です。

サンデー毎日の難関大 10 年間で伸びたベスト 500 校中、関東で 16 位にランクインしました。

インターハイの結果は、陸上部が男子 4×400m 6 位、水泳部が男子 1,500m 自由形 3 位、女子 800m 自由形 2 位、女子 200m 平泳ぎ 2 位、女子 400m メドレーリレー 4 位、女子 100m 平泳ぎ 6 位、女子総合 6 位です。

八王子学園八王子高等学校は、2013 年に創立 85 周年を迎えます。学園モットー「人格を尊重しよう」「平和を心に培おう」のもとに長い歴史の中で人間教育の伝統を培ってきました。将来も豊かな人間を育成し、地域に根ざした学校として発展していきたいと考えています。

同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご協力とご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、ますますの発展を祈念いたします。

定期総会次第

平成25年11月3日(日) 午後1時 開会

司会進行：副会長

- ◎ 開会の辞 八王子学園同窓会 副会長
- ◎ 同窓会長挨拶 八王子学園同窓会 会長 濱野益男
- ◎ 来賓祝辞 学校法人八王子学園 理事長 稲村松世 殿
八王子学園八王子中学校・高等学校
校長 佐藤寛文 殿

- ◇ 議長等の選任 議長
書記
議事録署名人(2名) 濱野益男(高校4回)
新井雅之(高校30回)

◎ 議 事

- 平成24年度 事業報告 会長
- 平成24年度 決算報告 会計
- 平成24年度 監査報告 監事
- 平成25年度 事業計画(案) 会長
- 平成25年度 予算(案) 会計
- 任期満了に伴う役員の改選 会長
- 法人役員の選任 会長
- その他

◇ 議長解任

- ◎ 閉会の辞 八王子学園同窓会 副会長

◆ 懇親会(於：富士森会館「海苑」)

平成24年度 事業報告

◎同窓会報の発行

同窓会報第14号を発行した。

◎援助金の拠出について

母校在校生の芸術・スポーツの部門で優れた活動、成果に対して同窓会事業の一環として行っている援助金の交付。本年度も各部門で在校生の目覚ましい活躍があり、当会では「援助金支給規定」によりこれを顕彰した。

◎卒業生に記念品の贈呈

「祝卒業 八王子学園同窓会」の銘を入れた卓上型電波時計を贈る。また、本「同窓会報」を特別に装丁し全員に渡した。

◎会議等の開催

平成24年11月 4日 同窓会総会を母校マルチメディア教室で開催した。総会第一部では、平成23年度事業報告、決算報告及び平成24年度事業計画案及び予算案等を審議、承認した。

第二部は、会場を富士森会館『海苑』に移して懇親会を行い、約130名の会員が一堂に会して会食を行った。

平成25年 2月15日 役員会を開催し、新年度同窓会の運営について協議した。席上、吹奏楽部が全国大会マーチング部門で銀賞を受賞。また、全国高校女子駅伝京都大会で45チーム中21位と善戦したことを報告する。

3月 6日 八王子学園八王子高等学校卒業式（オリンパスホール八王子）。同窓会長より祝辞を贈る。

3月17日 当会副会長藺古田泰義氏死去。規定により当会より生花及び弔慰金を贈る。

4月 8日 八王子学園八王子高等学校入学式（オリンパスホール八王子）
八王子学園八王子中学校入学式（本校講堂）

4月19日 役員会開催。藺古田副会長死去に伴う役員欠員について協議した。

9月13日 三役会開催。定期総会の開催及び役員の改選について協議した。

9月20日 理事会開催。定期総会の開催及び役員の改選について協議した。

10月18日 幹事会開催。定期総会に伴う諸問題について協議した。

平成24年度(第72回) 八王子学園同窓会収支報告

自 平成24年11月 1日
至 平成25年10月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	15,595,634	15,595,634	普通預金(5,580,822円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
入会金(終身会費)	3,990,000	3,976,000	@7,000円×568名
預 金 利 息	1,000	851	預金利息
雑 収 入	100,000	102,000	懇親会参加費(@1,000×102名分)
合 計	19,686,634	19,674,485	

支出の部

(単位:円)



科 目	予算額	決算額	摘 要
総 会 費	700,000	593,728	総会々食代(24.11.4、於:富士森会館「海苑」、他)
会 議 費	400,000	245,460	役員会(140,600円)、理事会(29,530円)、幹事会(62,700円)、三役会(12,630円)
印 刷 製 本 費	350,000	388,920	諸規定集印刷代(39,900円)、卒業生配布用会報印刷代(179,550円) 幹事会開催通知及び幹事会・総会出欠往復ハガキ印刷代(27,720円) 総会配布用会報印刷代(141,750円)
事 務 局 費	150,000	150,000	諸経費
通 信 費	150,000	87,200	幹事委嘱状郵送代(4,200円)、幹事会・総会出欠往復ハガキ代(58,000円) 総会開催通知ハガキ代(25,000円)
交 通 費	30,000	18,180	役員交通費(遠方来校者)
援 助 費	2,000,000	1,445,000	クラブ援助金(1,205,000円)、八学杯協賛金(240,000円)
慶 弔 費	30,000	40,500	故蘭古田氏、香典及び生花代
諸 会 費	30,000	0	
記 念 品 費	600,000	523,480	卒業記念品代(電波時計、@¥920×569個)
雑 費	100,000	0	
予 備 費	500,000	0	
合 計	5,040,000	3,492,468	
差 引 残 高	14,646,634	16,182,017	次年度繰越金 普通預金(6,167,205円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)

監査報告書

平成25年11月1日

八王子学園同窓会

会長 濱野 益男 殿

監事 須田 佳津緒 
監事 渡辺 裕 

私共は、八王子学園同窓会の平成24年度(第72回、平成24年11月1日から、平成25年10月31日まで)収支報告書について、本日、同窓会事務局内で監査いたしました。

監査の結果、下記のとおりご報告いたします。

記

八王子学園同窓会の平成24年度収支報告書は、銀行等通帳、帳簿記録及び証憑書類の記録と一致しており、また、収入及び支出の内容については特に指摘すべき事項はありませんでした。

よって、私共は上記の収支報告書が八王子学園同窓会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

平成24年度 クラブ援助費内訳

【クラブ援助金内訳】

吹	奏	楽	部	90,000 円							
書	道		部	25,000 円							
陸	上	競	技	部	560,000 円						
男	子	バ	ス	ケ	ツ	ト	ボ	ー	ル	部	175,000 円
柔		道		部	40,000 円						
水		泳		部	265,000 円						
野		球		部	50,000 円						
			計	1,205,000 円							

【八学杯協賛金内訳】

男	子	バ	ス	ケ	ツ	ト	ボ	ー	ル	部	120,000 円
女	子	バ	ス	ケ	ツ	ト	ボ	ー	ル	部	30,000 円
柔		道		部	90,000 円						
			計	240,000 円							

合計 1,445,000 円

平成25年度 事業計画(案)

一昨年度から始まった高等学校の定員是正による卒業生の減少は本年度もさらに進められます。これに伴い今後の同窓会活動にも大きな影響が出るものと考えます。今後、同窓会活動の活性化、効率化と共に同窓会活動の課題として取り組む必要があります。

◎援助金の拠出について

同窓会の事業として、母校在校生の優れた活動に対し行う援助活動は本年度も継続して実施します。

◎同窓会報の発行

同窓会会報第15号を平成25年11月1日に発行します。また3月には新会員用(卒業生用)の会報を作成し、交付の予定です。

◎卒業生に記念品の贈呈

例年行われている卒業生に対する記念品の贈呈は本年度も実施の予定で、品物等については後日協議のうえ決定します。

◎会議等の開催

三役会、理事会、幹事会等の会議を開催し、必要に応じ会則検討委員会および会報委員会を開催します。

同窓会からのお知らせ

◆平成25年度 同窓会定期総会について

下記のとおり開催いたしますので、同窓生の皆様奮ってご参加下さい。

日時 平成26年11月2日(日) 午後1時より

会場 八王子学園八王子高等学校

※総会終了後、懇親会を開催いたします(会費1,000円予定)。

平成25年度(第73回) 八王子学園同窓会収支予算(案)

自 平成25年11月 1日

至 平成26年10月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	16,182,017	普通預金(6,167,205円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
入会金(終身会費)	3,640,000	@7,000円×520名
預 金 利 息	800	預金利息
雑 収 入	100,000	懇親会々費、他
合 計	19,922,817	

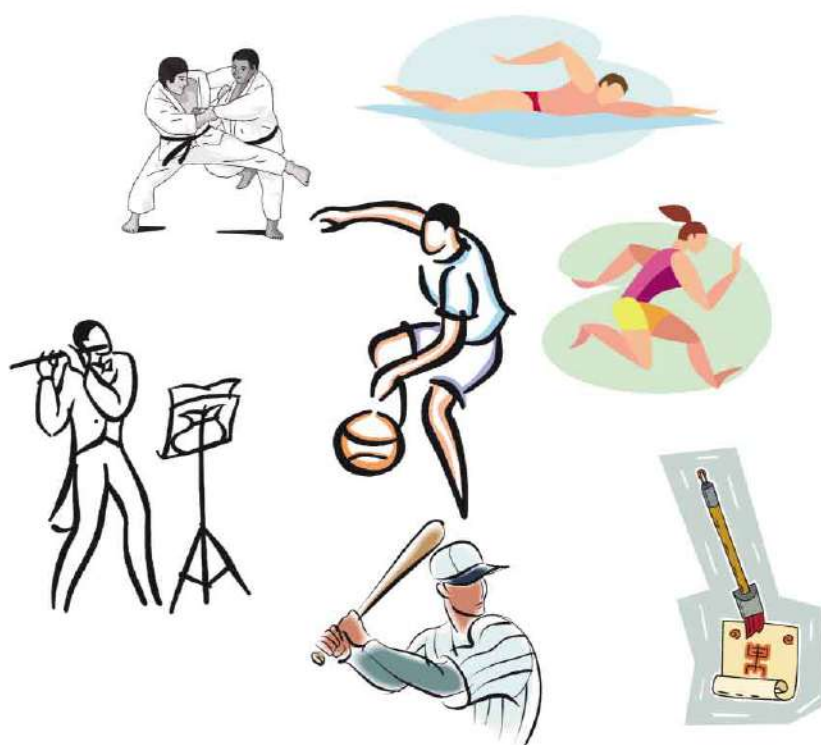
支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
総 会 費	700,000	総会々食代(25.11.3、富士森会館「海苑」)、他
会 議 費	350,000	三役会・役員会・理事会・幹事会等会議費
印 刷 製 本 費	350,000	卒業生配布用会報印刷代、総会配布用会報印刷代 幹事会開催通知及び幹事会・総会出欠往復ハガキ印刷代
事 務 局 費	150,000	諸経費
通 信 費	120,000	幹事委嘱状郵送代、幹事会・総会出欠往復ハガキ代、総会開催通知ハガキ代
交 通 費	30,000	役員交通費(遠方来校者)、他
援 助 費	2,000,000	各クラブへの援助金、八学杯協賛金、他
慶 弔 費	50,000	
諸 会 費	30,000	
記 念 品 費	600,000	卒業記念品代
雑 費	100,000	
予 備 費	500,000	
合 計	4,980,000	

差 引 残 高	14,942,817	次年度繰越金 普通預金(4,928,005円)、定額郵便貯金(10,000,000円)、郵便貯金(14,812円)
---------	------------	--

援助費支給クラブの活動報告



2013年夏 吹奏楽部

八王子学園八王子高等学校
吹奏楽部顧問 高梨 晃

同窓会の皆様には、日頃より多大なご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際にはご援助も頂き、重ねて御礼申し上げます。

さて、この夏のご報告ですが、まずは 8/11(日)～16(金)府中の森芸術劇場で行われた『第 53 回東京都高等学校吹奏楽コンクール』に今年も A 組(55



名)・B 組(35 人)・C 組(20 人)の全部門に出場致しました。昨年同様、B 組は名誉顧問の高瀬新一郎先生に指揮をとっていただき、A・C 組を私が指揮をさせていただきました。今年も全ての組で金賞を受賞、A 組は東京都大会へと駒を進めました。C 組は最大 20 名出られるのに対し、今年メンバーの都合により 15 名での出場。その内 13 名が 1 年生、また 7 名が初心者という状況でしたので、かなり厳しい環境ではありましたが、なんとか金賞まで上り詰めることが出来ました。



そして 9/21(土)に行われた『第 53 回東京都吹奏楽コンクール』に A 組が出場しました。今年の会場は、予選と同様府中の森芸術劇場で行われました。本番では、皆とてもリラックスをしてのびのび演奏することができました。観客の反応も良く、大きな拍手と共に歓声が飛び交いましたが、結果は銀賞。昨年に引き続き全国大会出場

を目指していただけあって、この結果には悔しい気持ちさえも上手く表せないほどの衝撃でした。

次に、『第 26 回全日本マーチングコンテスト東京都大会』が 9/1(日)に有明コロシアムで開催され、本校は高校以上の部に出場しました。今年も高校 8 団体、一般 1 団体の計 9 団体が出場しました。本校は金賞、その他に 2 団体が金賞を受賞しました。その 3 つの金賞団体から 1 団体が全国大会出場権を獲得します。結果、全国大会は本校のライバル校である東海大学付属高輪台高校が勝ち取りました。マーチングの動きの面では絶対に負けていない自信はありましたが、音の充実度では劣っていたように思いました。また、練習過程も完全に負けていました。なんといっても、本番会場である有明コロシアムを借りて練習していたとのこと。勝負に勝つための徹底ぶりを思い知らされました。



昨年度は、吹奏楽、マーチング、アンサンブルの 3 大会全て東京代表として全国大会に出場することができました。このような快挙は、全国でも本校を含めて 2 団体しかありません。これも一重に、日頃より厚いご声援をくださる同窓会の方々をはじめ、学校関係者全ての方のお陰と心より感謝申し上げます。その昨年の結果に対し、今年コンクールというものの厳しさを痛感せざるを得ない状況となっております。常に初心を忘れず、日々精進して参ります。この先は、11 月に横浜で行われる全国規模の大会が行われる他、1 月からはアンサンブルコンテストが始まります。このようなコンクールの他にも、幼稚園や小中学校、大学、市内外からの依頼演奏等、沢山の本番を控えております。一つ一つの本番を大切に、本気で楽しめる音楽を目指し、持ち前の笑顔で元気に活動してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導の程、よろしくお願い致します。

八王子学園八王子中学高等学校 書道部 平成 24～25 年 活動報告

顧問 安藤和則

コーチ 遠山真実

同窓会の皆様には平素より多大なご支援をいただきありがとうございます。

以下に平成 24 年 10 月から 25 年 9 月までの書道部活動報告をさせていただきます。部員数は 22 名(内中学生 7 名)です。

- 25 年 3 月に卒業した 3 年生 3 名は、学習院大学、日本大学、明治学院大学にそれぞれ進学しました。
- 24 年 10 月には創玄書道会主催の「第 49 回全国競書大会」に半紙大で出品しました。この展覧会は全学年の芸術書道選択者 400 名と一緒に参加し、誌上展ですので展示はなく主催者発行の月刊誌に掲載されました。出品料は 350 円で各自諸経費にて徴収しています。コーチの遠山先生は審査員です。

書道部の結果は次の通りです。

24 年 10 月

毎日新聞社賞	2- 4	小俣 澄夏
	2- 8	倉上 真由香
	2-12	郡 みのり
	1- 5	光本 日向子

☆郡さんは昨年につき 2 年連続の快挙で、一団体 4 名もの受賞は大変珍しい結果と言えます。

- 24 年 11 月は毎日新聞社主催の「第 21 回国際高校生選抜書展」通称「書の甲子園」と呼ばれる展覧会で、文字通り中国やインドなど海外の高校生も出品しています。全紙大(137 cm×75 cm)または半切大(137 cm×37.5 cm)と大作品のため、書道部のみが参加しています。出品料は無料ですが、入選すると作品を表装して展示します。

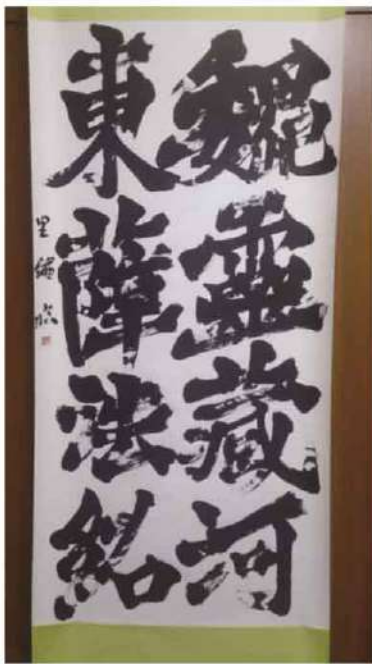
結果は次の通りです。

24 年 11 月

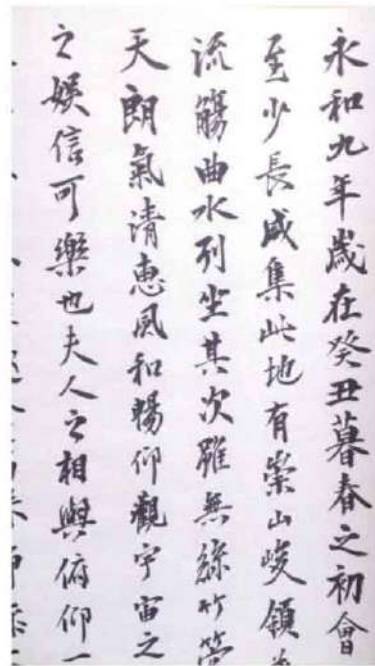
入選	2-6	古関 志緒里
入選	2-8	倉上 真由香

☆古関さんは昨年につき、2 年連続の快挙です。安定した書き振りで、学園祭教室展示の良い作品アンケート 1 位に輝きました。

☆倉上さんは、蘭亭叙の全臨で 324 字を小筆で書き上げた苦心の作です。入選の喜びもひとしおでした。



古関 志緒里



倉上 真由香(部分拡大)

- 25年1月は鷗友書道会主催の「第35回鷗友書道展」に半紙大で出品しました。この展覧会は1年の芸術書道選択者180名と一緒に参加しました。出品料は350円で、各自諸経費で徴収しています。顧問の安藤は審査主任です。書道部の結果は次の通りです。

25年1月

最高賞	1- 5	光本 日向子
大賞	1- 2	鄭 与佳
準大賞	2- 6	古関 志緒里
毎日新聞社賞	2- 4	小俣 澄夏
鷗友書道会長賞	2-14	江藤 真帆

☆光本さんの最高賞はトルコ大使館協賛です。1年生での受賞は快挙です。
 ☆大賞の鄭(てい)さんは特進コースで成績もクラストップです。このように、学習がしっかりできる生徒がクラブ活動を楽しみ、学園生活を謳歌していることは、大変喜ばしいことです。学園祭以降は部長として、活躍してくれます。

●25年3月は創玄書道会主催の「第49回創玄展」に出品しました。この展覧会は主に書家を目指す人達が出品するレベルの高い展覧会で、書道部も7年ほど前から参加しています。作品の大きさも全紙よりも大きく150cm×60cm又は90cm×90cm大で一般生徒には難しく、書道部のみ参加しています。毎年夏休みの合宿で部員それぞれの力に合った作品の傾向を考えます。コーチの遠山先生は審査員です。この展覧会の表装料は同窓会から援助して頂きました。
書道部の結果は次の通りです。

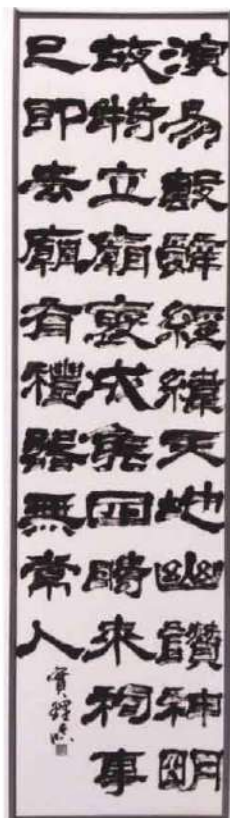
25年3月

二科賞	2-4	小俣 澄夏
二科賞	2-12	郡 みのり
二科賞	2-14	谷口 まり映
準二科賞	2-6	古関 志緒里
入選	2-8	倉上 真由香
入選	2-10	中島 桃
入選	2-14	江藤 真帆

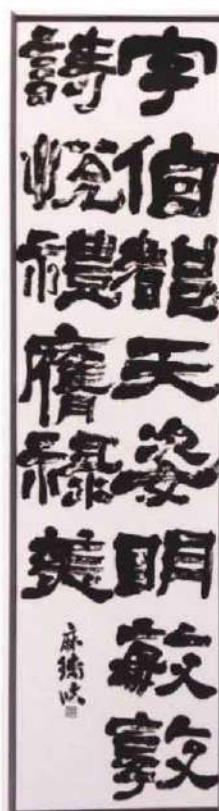
☆二科賞3名の受賞は快挙です。二科賞を2回受賞すると一科に昇格し、その後は入賞回数のポイント制で審査員へ昇格の道が開けます。そういう意味でも、高校生のうちの二科賞受賞はとても重みのある賞と言えます。



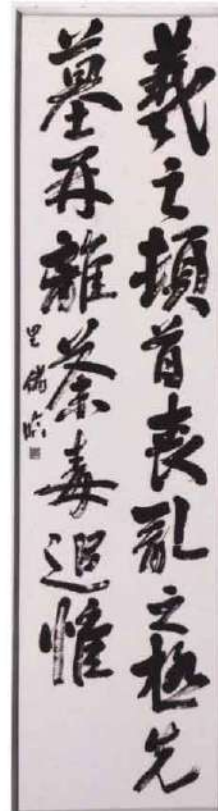
小俣澄夏



郡みのり

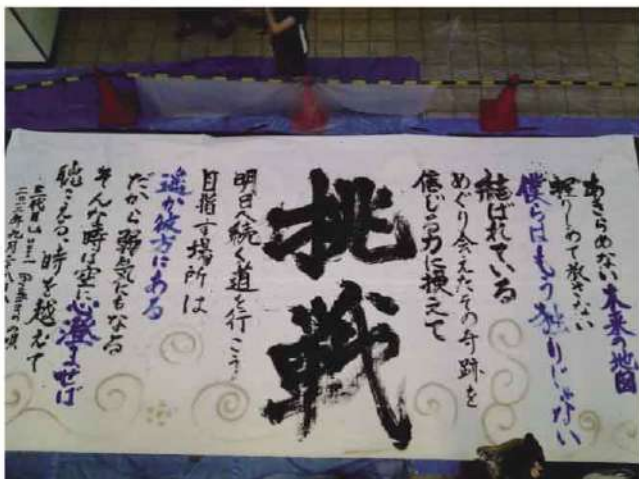


谷口まり映



古関志緒里

●25年9月の学園祭、コーラス部とのコラボレーションで、書道ガールズが歌の歌詞を揮毫しました。



中学生も大勢の前で書きました



夏の合宿での成果を披露しました



中学生の教室展示

柔一筋

八王子学園

柔道部監督 川野 昭吾

同窓会の方々におかれましては日頃より柔道部に心からのご厚情を賜りまして、深く感謝申し上げます。

私が日本体育大学を卒業しました昭和56年より柔道部の指導に従事してまいりまして、今年で33年目を迎えるという長い歴史になりました。この間も歴代の理事長先生・校長先生をはじめ多くの諸先生方、諸先輩方にご指導いただいたり、助言を賜りながら歩んでまいりました。

また、この33年の間に数多くの教え子達にも恵まれました。現在もその教え子達はOB会として、陰より私をはじめ柔道部を支えてくれております。その中には、昭和60年度卒の小川直也という日本国内だけではなく、世界のトップに立ったような選手を育てることもでき、私の宝物として今も大切にしております。小川の他にも、高校時代に八王子学園の看板を背負ってインターハイや国体、関東大会等で堂々と戦った教え子も大勢おり、そのことも指導者冥利に尽きるものであります。

現在、日本柔道界は大きなうねりをあげて、改革の道を進んでいます。その柔道界の末端ではありますが、高校柔道界を通して心身共に健全で、強固な人間力を備えた青年の育成に、残された定年までの日々を捧げたいと思っております。これからも同窓会の方々にはお世話になりますが、よろしくご支援のほど、お願い申し上げます。

また、前記の教え子達が、在学中から卒業後に至るまで活躍した足跡を記載しました。スペースの関係で一部しか記載できませんが、教え子達の血と汗と涙の結晶ですので、ご高覧いただければ幸いかと存じます。



【本校在学時、全国規模以上の大会のみ】

昭和 57 年度	日米高校対抗試合	日本71kg級代表	阿部雅人、国際武道大一大成建設
58 年度	日独高校対抗試合	日本95kg級代表	井上貴史、拓殖大一自営業
59 年度	若潮杯全国招待試合	団体戦	5 位
60 年度	金鷲旗争奪全国高校柔道大会	団体戦	9 位
	インターハイ	男子95kg超級	5 位(小川直也-明治大-格闘家)
	国民体育大会柔道競技	少年男子の部	優 勝(小川直也-明治大-格闘家)
	全日本ジュニア選手権	95kg超級	5 位(小川直也-明治大-格闘家)
62 年度	全国高校柔道選手権大会	女子72kg級	5 位(川西栄子-国武大-看護師)
63 年度	関東高校柔道大会	女子重量級	3 位(川西栄子-国武大-看護師)
平成 元 年度	関東高校柔道大会	女子重量級	3 位(川西栄子-国武大-看護師)
3 年度	国民体育大会関東ブロック大会		4 位(野崎琴江-学芸大-主婦)
	全国高校柔道選手権大会	女子52kg級	5 位(野崎琴江-学芸大-主婦)
4 年度	関東高校柔道大会	女子軽量級	5 位(野崎琴江-学芸大-主婦)
	インターハイ	女子団体戦	3 回 戦
	国民体育大会関東ブロック大会		4 位(野崎琴江-学芸大-主婦)
	全国高校柔道選手権大会	女子52kg級	準 優 勝(野崎琴江-学芸大-主婦)
5 年度	関東高校柔道大会	女子軽量級	準 優 勝(野崎琴江-学芸大-主婦)
	インターハイ	女子団体戦	3 回 戦
	国民体育大会関東ブロック大会		4 位(野崎琴江-学芸大-主婦)
6 年度	関東高校柔道大会	女子中量級	9 位(小川美奈子-都立短大)
7 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
		女子中量級	5 位(小川美奈子-都立短大)
		女子軽量級	9 位(長岡由紀子-栄養士)
	全国高校柔道選手権大会	女子56kg級	3 回 戦(小川美奈子-都立短大)
		女子66kg級	2 回 戦(小林実子-本校事務)
8 年度	関東高校柔道大会	女子中量級	5 位(田中美穂-淑徳短大)
		女子軽量級	5 位(長岡由紀子-栄養士)
10 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
		女子軽量級	5 位(山本良子-桜美林大-主婦)
	全日本ジュニア選手権	女子48kg級	2 回 戦(館岡美貴-都立短大-主婦)
	全国高校柔道選手権大会	女子48kg級	5 位(山本良子-桜美林大-主婦)
平成 11 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
		女子軽量級	3 位(山本良子-桜美林大-主婦)
	全日本ジュニア選手権	女子48kg級	5 位(山本良子-桜美林大-主婦)
13 年度	関東高校柔道大会	男子無差別級	5 位(石倉光彦-横浜桐蔭大)
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	3 位
	全国高校柔道選手権大会	男子団体戦	出 場

14 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	5 位
15 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	全国高校柔道選手権大会	男子団体戦	出 場
16 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	5 位
17 年度	インターハイ	男子60kg級	3 位 (高橋 治一国際武道大)
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	準 優 勝
	国民体育大会柔道競技	少年男子の部	3 位 (高橋 治一国際武道大)
18 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	インターハイ	男子90kg級	出 場 (平山涼二ーセントラル警備)
19 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	出 場
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	3 位
20 年度	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	優 勝
22 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
23 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	2 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位
24 年度	関東高校柔道大会	男子団体戦	3 回 戦
	インターハイ	男子60kg級	3 回 戦
	全国体育系高校柔道大会	男子団体戦	5 位

【30年間で関東大会以上の戦績のまとめ】

関東高校柔道大会	男子団体戦 (17回出場)
	男子個人戦 (1回出場)
	女子個人戦 (10回出場、うち準優勝1回、3位2回)
インターハイ	女子団体戦 (2回出場)
	男子個人戦 (4回出場、うち3位1回、5位1回)
国民体育大会柔道競技	男子個人戦 (2回出場、うち優勝1回、3位1回)
全日本ジュニア選手権	男子個人戦 (1回出場、うち3位1回)
全国高校柔道選手権大会	男子団体戦 (2回出場)
	女子個人戦 (7回出場、うち準優勝1回、5位2回)
全国体育系高校柔道大会	男子団体戦 (7回出場、うち優勝1回、準優勝1回、3位3回)

【30年間で東京都大会の戦績のまとめ】

関東高校柔道大会	男子団体戦 (5位12回)
	男子個人戦 (準優勝1回、3位4回、5位15回)
	女子個人戦 (優勝6回、2位5回、3位5回、5位5回)
インターハイ	男子団体戦 (3位4回、5位13回)
	女子団体戦 (優勝2回、2位1回、3位4回、5位2回)
	男子個人戦 (優勝4回、2位1回、3位21回、5位34回)

国民体育大会柔道競技	男子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位9回、5位14回)
	女子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位5回)
学年別団体戦	各学年団体 (3位10回、5位29回)
全国高校柔道選手権大会	男子団体戦 (3位2回、5位13回)
	男子個人戦 (3位4回、5位5回)
	女子個人戦 (優勝7回、2位13回、3位6回、5位1回)

【卒業後のOBたちの活躍、全国規模以上の大会の個人戦のみ】

- ・小川直也(明治大ーJRAー格闘家)
 - 全日本柔道選手権大会(連覇を含む多数優勝)、世界柔道選手権大会95kg超級・無差別級(金メダル)
 - バルセロナオリンピック95kg超級(銀メダル)、他日本のみならず国際級の選手として活躍
- ・倉吉智宏(日本体育大ー京葉ガス)
 - ベトナム国際柔道大会90kg級(銅メダル)、国民体育大会成年の部(千葉県代表、3位)
- ・山本良子(桜美林大ー主婦)
 - 講道館杯世界柔道選手権国内選考会女子48kg級(出場)
- ・石倉光彦(横浜桐蔭大ー飲食店勤務)
 - 関東学生体重別選手権大会100kg超級(3位)
- ・斉木敏明(山梨学院大ー会社員)
 - 関東ジュニア選手権大会73kg級(優勝)、全日本ジュニア選手権大会73kg級(5位)
 - 関東学生体重別選手権大会73kg級(優勝)、全日本学生体重別選手権大会73kg級(5位)
 - 講道館杯柔道選手権大会73kg級(5位)
- ・古田秀州(國學院大ー神奈川県警)
 - 東京学生体重別選手権大会100kg級(3位)、全日本学生体重別団体戦(3位)
 - 全国警察柔道選手権大会100kg級(優勝)、全国警察柔道団体戦出場、講道館杯100kg級出場
- ・高橋 治(国際武道大ー千葉県警)
 - 関東ジュニア選手権大会60kg級(3位)、全日本ジュニア選手権大会60kg級(出場)
 - 関東学生体重別選手権大会66kg級(3位)、全日本学生体重別選手権大会66kg級(5位)
- ・平山涼二(セントラル警備ー飲食店)
 - 全日本実業団体体重別選手権大会無差別級(3位)
- ・野村優貴(国際武道大ー川越刑務所)
 - 全日本学生体重別団体戦(5位)、関東学生体重別団体戦(3位)
- ・有田竜之介(国際武道大学2年)
 - 香港国際柔道選手権66kg級(金メダル)

毎年の応援に感謝いたします

八王子学園八王子高等学校

陸上競技部顧問 渡邊 大輔

日頃より同窓会の皆様には、関東大会、インターハイ、全国駅伝出場の際に激励の言葉や激励金を戴いたりとお世話になり有難うございます。

昨年度の駅伝、女子においては都駅伝で優勝し、3年ぶりの全国大会出場を果たすことができました。師走の都大路では、力を出し切ったものの21位と目標とする10位以内には届きませんでした。

また、今年度のトラック&フィールドの試合結果は、5月の都総合体育大会では、男子総合2位、女子は3位という結果を残しました。この都大会の結果、埼玉県で行われた関東大会には男子16名、女子13名と多人数での出場となりました。関東大会では男子7名、女子13名が6位内に入賞し、20名が7月30日から8月3日まで大分銀行ドームで行われたインターハイに出場することが出来ました。去年からの良い流れを受け継ぎ女子4x400mRで6位に入賞することができました。他の種目は、決勝まであと一步の所で涙をのみましたが、来年有望な1、2年生が多くいるので、来年は再び多種目で入賞することを目標としていきたいと思います。

現在、短距離、跳躍、投擲においては、都新人大会（9月21、22、23日実施）に臨んでいます。この新人大会で3位までの入賞者においては、10月に神奈川で行われる関東選抜新人大会に出場でき、関東選抜新人大会に出場出来なかった者においては来年の活躍を目指し日々練習に励んでいる毎日です。また、駅伝では、11月3日に行われる都駅伝で、男子においては入賞、女子においては2連覇をめざし、関東大会、全国大会出場を目標に練習に励んでいます。

去年、今年と非常に良い流れができていますので、来年度におきましても、今年以上の結果を求め頑張っていきたいと思います。今後とも応援の程よろしくお願い致します。



【乾坤一擲】【全国制覇】

八王子学園八王子高等学校
男子バスケットボール部
顧問 石川 淳一

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、今年度前半、我が部は関東大会並びにインターハイに出場することができました。目標を掲げながら、チーム一丸となって戦い、関東大会東京都予選においては2年ぶりの優勝を果たし、関東大会に駒を進めました。同大会で準決勝まで勝ち進み、準決勝の相手は市立船橋高校（千葉）。市立船橋高校とは練習試合をしている中でお互いを知り尽くしている相手でもありました。一進一退の攻防が続きましたが敗戦。第3位となりました。

インターハイ東京都予選も順当に勝ち進み、決勝リーグは京北高校、國學院久我山高校、実践学園高校とのリーグ戦となりました。結果は3勝全勝で2年連続優勝し、9年連続インターハイ出場を果たしました。

インターハイでは、1回戦星翔高校（大阪）と対戦し100-72で快勝。2回戦本校と同じセネガル人留学生がいる桜丘高校（愛知）と対戦し89-65で快勝。3回戦（ベスト8決）では、沖縄インターハイの決勝で対戦した明成高校（宮城）と対戦し、前半は本校のペースで試合を進めながらも、後半に入り相手のシュートが入るようになり、同時にディフェンスに対応できずに敗退となり、結果ベスト16で終了しました。

その後、国民体育大会では本校より東京代表に4名が選出されるなど（3年：新号君、野間君、安藤君、2年：ソレイマン君）、本校の選手が全国レベルにおいても高い評価を受けるに至っております。

今後は11月より始まる高校バスケットボール界の最高峰“ウィンターカップ”、その予選突破と本大会出場を目指し、現在、日々練習に励んでいます。

インターハイ13回出場、関東大会14年連続15回出場を果たすものの、未だ強豪チームとは言い難く、これからも日々精進し、チームの目標、“全国制覇”“日本一”をもう一度勝ち取る為に、頑張っていきたいと思っております。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしく願いいたします。



2013年 水泳部の活動報告

八王子学園八王子高等学校

水泳部監督 安芸 進

部員数52名は創部より一番多いに人数となり、男女のキャプテンはチームをまとめることが大変だったことだろうと思います。

今年は、インターハイで「男子はリレー3種目で決勝進出」・「女子は3年連続総合得点争いで3位以内」を目標にしてスタートしました。今年は例年になく男女とも新入部員が多く、また全国中学で活躍した選手が揃い、楽しみなチームですので、今後の育成の仕方で更に期待できます。

☆6月6・7日、東京都高等学校春季大会が今年度は法政大学八王子キャンパスで行われました。

次につながる試合ではありませんでしたが2週間後の関東大会予選の前哨戦でもありました。

この大会は個人種目入賞より学校対抗得点争いを重視し、男女優勝を成し遂げ士気は盛り上がりました。

☆6月22・23日東京都高等学校選手権水泳競技大会、兼関東大会予選会が今年度は町田市営室内プールで行われました。この大会は関東大会・インターハイに繋がる試合で高校生が最も重要視する大会でもあります。学校対抗得点争いで、女子は2年連続優勝・男子は2位で残念ながらアベック優勝とはなりませんでした。

☆関東大会は7月22日～24日、埼玉県川口市青木公園総合運動場プールにて行われました。

男子個人11種目名19名+リレー3種目/女子12種目・25名+リレー2種目に出場しました。その結果、インターハイには男子9種目+3種目リレー=14名/女子13種目+2種目リレー=18名、総勢32名の出場権を得ました。男子個人11種目名19名+リレー3種目/女子12種目・25名+リレー2種目に出場します。

☆インターハイは8月17日～20日、4日間長崎県長崎市民総合運動場プールにて行われました。関東大会後合宿を組み、最後の調整をしインターハイに臨みました。厳しい練習をこなし、体力面と技術面での調整は満足するものでありましたが、後はチーム力が大切です。インターハイ前夜に、両キャプテンから今年のインターハイのスローガン「スマイル」と伝えられ士気が上がりました。最初の種目は、女子400m自由形で、女子キャプテンとしてこの大会のために短距離種目から長距離種目に変えた川瀬が出場しました。チームの流れを引き寄せるために1年間、キャプテンとして責任感を果たすために努力をしてきました。その結果、決勝進出を果たしチーム力が更に一つになりました。そして、八王子高校関係者に感動をくれました。この4日間は全体ミーティング・男女別ミーティング・マネージャーミーティングなど、夜遅くまで責任を果たすために最善の努力をする姿はスタッフに感動を与え、スタッフの更なる団結をももたらすものになりました。結果以上に成果を出し切ってくれた大会となったと思います。以上の3大会の結果で国体選手が選考され、1年生から男子2名・女子2名が選ばれ

ました。

☆国民体育大会の開催は東京で「スポーツ祭東京 2013」として辰巳国際水泳場にて9月13日～15日行われました。東京は昨年、国体38連覇が途切れてしまったことと、今年は東京が開催地とあって、東京都としても度々合宿を重ね、成年の種目には北島康介選手や多くのオリンピック経験者を参加させ、開催地天皇杯奪回に燃えました。本校の選手も全員個人種目決勝進出をしたり、リレー種目で貢献しました。

☆9月8日早朝「2020年東京オリンピック開催決定」が報道されました。本校のホームページの中にもありますが、水泳部がスローガンとして掲げている、「己の限界へ、そしてオリンピックへ」の言葉に責任を感じました。1984年のソウルオリンピックから2012年ロンドンオリンピック間、1992年のバルセロナオリンピックを除き7大会に出場しています。在学中に出場したのがアトランタオリンピック田中雅美が3年生の時でした。オリンピック出場が東大に入学するより難しいと言われる理由は、4年サイクルで大会が開催されるために年齢と選手としてのピークが合わなければならないからです。再び八王子高校現役生の出場を狙うならば、現在の10歳前後の選手を発掘し育成することが求められていることとなります。小学5年生と言えば中学受験対象者である……？

今年も、高いレベルでの試合に臨めたのは八王子学園同窓会のご支援・ご協力があったからこそできたことと深く感謝申し上げます。

今後もさらなるご支援を宜しくお願い申し上げます。



甲子園出場をめざして

八王子学園八王子高等学校

野球部監督 安藤 徳明

同窓会の皆様には日頃より多大なご支援とご協力を賜り深く感謝いたしております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、野球部の昨年秋から一年間の活動報告をいたします。昨夏の選手権大会西東京大会での敗戦で、「夏の大会3年連続初戦敗退」してから2か月が経った9月、投手力・打撃力・守備力の向上が図られ鍛え上げられた新チームの公式戦が、平成24年度秋季東京都大会一次予選から始まりました。2回戦から出場して初戦の相手は多摩大目黒、1回表に打線がつながり、長打をからめて一気に4点を取って先制し、2回表も2点を奪い、この試合の主導権を握りました。思っていたほどの緊張や硬さもなく、結果9対0の7回コールドで勝利し、駒を進めました。次の試合は、本大会出場のかかるB代表決定戦で、相手は駒大高です。雨天順延で日程が変更され行われたこの試合は、序盤で本塁打を含む長打4本で6点を取り、主導権を握りました。7回までにあと1点取ればコールド試合になるところ、得点チャンスにあと1本ヒットが出ず9回を戦ってしまいました。結果、6対0で勝利し、4年連続本大会出場を決めると同時に、平成25年度春季東京都大会本大会の出場も決めました。

秋季本大会1回戦の相手は修徳です。一死一、三塁と攻め込んだ2回表の得点チャンスを逃して、序盤から7回まで投手戦が続き、互いに0が並びました。試合が動いたのは8回裏です。一死一塁から三塁打と暴投で2点を取られました。ところが、9回表にドラマが待っていました。先頭打者の菅原恒介（1年）が四球で出塁すると、相手ベンチが動いて完封ペースで投げていたピッチャーを交代しました。打順が9番ピッチャーの末吉恭平（2年）に回ってきたので代打に高橋啓太（1年）を送りました。その高橋がレフト前にヒットを打ち無死一、二塁とチャンスが広がり、次打者は1番の館飛雄真（2年）、前の打席まで1打数3四死球であったが右中間に三塁打を放って同点とし、続く2番桂颯之（2年）がライト線に二塁打を放って逆点、さらに1点を加え4対2として試合をひっくり返しました。9回裏、リリーフした古市尚基（2年）が二死一、二塁まで攻められましたが、ライナー性の当たりをショート菅原が好捕してゲームセット、2回戦へ駒を進めました。2回戦の相手は早実です。1回表、5四死球という相手ピッチャーの不安定な立ち上がりを攻め、ノーヒットで2点を取って先制しました。2回表も、3回表もランナーを2塁に置きますが追加点が取れません。逆に3回裏、早実に二死から1点を取られて2対1になってしまいました。その後は互いに一進一退の攻防が続きスコアボードに0が並びました。そして、試合が動いたのが9回でした。八王子が主将である内童夢（2年）の左中間二塁打で1点を追加すると、その裏、5回からリリーフした古市尚基（2年）が一死後2番打者に四球を与えると、盗塁とレフト前ヒットであっさり1点を返され、さらに二死後、連続3四球を与えて同点にされてしまい、延長線へ突入。10回表、二死三塁と攻めましたが得点できず、その裏、先頭打者に左中間三塁打を打たれ、次打者の犠牲フライで1点を奪われゲームセット、サヨナラ負けを喫してしまいました。強豪校を相手に互角、いやそれ以上に戦っているながら勝ち切れなかった何とも歯がゆいゲームでした。また、秋季本大会の2試合で投手力の弱さをはっきりと出てしまいました。プロ野球ではありませんが先発・中継ぎ・抑えと役割を果たせる投手が必要なのではないでしょうか。

年度が変わった4月、春季本大会が始まりました。前述しましたように、前年度の秋季大会一次予選

で勝ち上がり、ブロックのB代表校に決まっていたので、3月中旬の一次予選は戦っていません。本大会1回戦の相手は、都八王子北です。1回表に先制するチャンスを逃したものの、2回表に3番打者岡本航（3年）の二塁打などで4点を取って先制すると、4回表は打者一巡11人の攻撃で5点を追加し、この試合の主導権を完全に握りました。その裏、二死二塁で都八王子北の4番打者に二塁打を打たれて1点を返されましたが、5回表にさらに3点を加え、結果、12対1の5回コールドで勝利しました。2回戦の相手は都松が谷です。1回表、エース末吉恭平（3年）の不安定な立ち上がりを攻められて1点先取されましたが、2回裏に3死球と2本のヒットで2点を取って逆転し、3回裏には2本の二塁打などで3点を取り、この試合の主導権を握りました。6回、7回と互いに1点を取り合って6対2で迎えた8回裏、相手のエラーと四球などで一死一、二塁となり、2番打者菅原恒介（2年）の三塁打で2点を取り、あと1点取れば7点差がついてコールド勝ちで終われるところ、後続が凡退して終われず、8対2で9回表を迎えました。試合途中から降り出した雨がやや強さを増し、マウンドに立つ末吉の足元が多少ぬかるんできました。末吉は8回まで相手打線を被安打6、奪三振10と抑えてきましたが、四死球が8あり、投球数も120球を超えていました。疲れて球威がなくなつたところに、雨でロジンも効かずボールが高めに浮き、結果、打者一巡11人に7長短打の2四死球で8点を奪われ、一気に試合をひっくり返されてしまいました。その裏、三者凡退してゲームセット。スリーアウトの瞬間、1塁側都松が谷スタンドから歓声とどよめきが起こりました。屈辱的な敗戦です。次の対戦相手が早実で、秋季本大会のリベンジがしたかっただけに、勝ちゲームを落としてとても悔いが残る試合でした。また、この大会を2回戦で敗退したため、夏の選手権大会のシード権を獲得することはできませんでした。



7月、夏の選手権大会西東京大会が始まりました。1回戦の相手は東京電機大高です。先発投手の西山博哲（3年）が1回表を3人でピシヤリと抑えると、その裏、硬さの見える相手内野陣のエラーや四球などによって難なく3点を取って先制。2回表にキャッチャーからサードへの送球ミスで1点を返されましたが、4回まで毎回得点し、結果、11対1の5回コールドで、4年ぶりに初戦を勝利しました。2回戦の相手は法政大高です。1回表、館飛雄真（3年）の先頭打者ホームランで1点を取ると、打線がつながりさらに2点を加えました。2回表にも1点を取って序盤で主導権を握ったかと思つたところ、先発投手の末吉恭平（3年）の調子が今一つピリッとせず、4回裏に4安打され2点、6回裏に二塁打を含む3安打されて2点を奪われて、8回を終えたところで5対4になってしまいました。9回表に相手のエラーで1点を取り、その裏を0点で抑え、2時間37分という長い試合でしたが勝利して終わりました。「夢を夢で終わらせない」をモットーにして臨んだこの大会、3回戦の相手は、強豪校の国士舘です。「夏を楽しめ!」、「全員野球で頑張ろう!」と臨んだ試合は、1回表に2安打して得点チャンスがあったものの、逆に、相手打線が尻上がりに調子が上がってきて4回までに毎回の9得点しました。八王子の選手たちは、相手選手のプレーを見て萎縮したのか気持で圧倒されたのかプレーが硬くなつてしまい、自分たちの野球ができない状態でした。5回裏二死から、リリーフピッチャー横森拓也（1年）が投じた初球を、相手3番打者がレフトスタンドに叩き込んでゲームセット、結果、0対10の5回コ

ールドで敗れました。高校野球生活最後の大会に挑んだ3年生たちは泣き崩れ、悔しさでいっぱいでした。「野球が自分たちと違う」、昨年の春季大会3回戦で敗れた関東一同様、投手力をはじめ打撃力、守備力の面で、国士舘とは大きな差があるということをもたまたま痛感しました。何をどうしようか、何をすればいいのだろうか、改めて考え直される試合でした。

現在の部員数は、現役を退いた3年生24人を除いて、2年生20人、1年生24人、そして女子マネージャー3人の計47人です。夏の大会での3回戦5回コールド負けから2か月間、投手力はもちろんのこと打撃力や守備力のレベルアップを図り、練習内容をより充実させて毎日夜遅くまで練習に取り組んできました。また、関西遠征をはじめ、強豪校相手に練習試合を数多くこなして実戦力を磨き上げ、「自分たちの野球ができるチーム」がまたできあがりました。

今年の秋季大会は、東京都で開催される第68回国民体育大会（多摩国体）の高校野球（硬式）競技会（会場は八王子市民球場）が9月29日から10月3日まで開催されます。そのため、一次予選（ブロック予選）が8月31日から始まり、わが野球部は予選を勝ち上がって5年連続本大会出場を決めました。10月、秋季本大会が始まります。新チームが躍動する姿をぜひご覧いただきたいと思います。夏の大会で5回コールド負けを喫して悔し涙を流した2年生メンバーに、実力派ぞろいの1年生が加わりました。甲子園出場をめざして、また、『必勝 ありんこ軍団』を合言葉にして、指導者、ベンチ、スタンドが一体になった全員野球で大会に臨みます。

今後とも、同窓会の皆様方には相も変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

《戦 績》

◇平成24年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第14ブロック 2回戦 24.9.16 於：八王子市民球場

八 王 子 4 2 0 0 1 1 1 9

多摩大目黒 0 0 0 0 0 0 0 0 (7回コールド)

投手—捕手：西山(2年)—柴田(1年)

第14ブロック B代表決定戦 24.9.22 於：八王子高校上柚木グラウンド

八 王 子 2 0 4 0 0 0 0 0 6

駒 大 高 0 0 0 0 0 0 0 0 0

[本大会出場]

投手—捕手：末吉(2年)—柴田(1年)

◇平成24年度 秋季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 24.10.8 於：江戸川区球場

八 王 子 0 0 0 0 0 0 0 0 4 4

修 徳 0 0 0 0 0 0 0 2 0 2

投手—捕手：末吉(2年)、古市(2年)—柴田(1年)

2回戦 24.10.13 於：昭島市民球場

八王子 2 0 0 0 0 0 0 0 1 0 3
早 実 0 0 1 0 0 0 0 0 2 1× 4 (延長10回)

投手—捕手：末吉(1年)、簡野(2年)—宇田川(1年)、坂内(2年)

◇平成25年度 春季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 25.4.4 於：江戸川区球場

八王子 0 4 0 5 3 12
都八王子北 0 0 0 1 0 1

投手—捕手：末吉(3年)、山口(2年)—柴田(2年)

2回戦 25.4.6 於：多摩市一本杉公園野球場

都松が谷 1 0 0 0 0 1 0 0 8 10
八王子 0 2 3 0 0 0 1 2 1 9

投手—捕手：末吉(3年)—宇田川(3年)

◇第95回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会

1回戦 25.7.6 於：八王子市上柚木公園野球場

東京電機大高 0 1 0 0 0 1
八王子 3 2 2 4 × 11 (5回コールド)

投手—捕手：西山(3年)、横森(1年)、山口(2年)—柴田(2年)

2回戦 25.7.13 於：八王子市民球場

八王子 3 1 0 0 1 0 0 0 1 6
法政大高 0 0 0 2 0 2 0 0 0 4

投手—捕手：末吉(3年)—柴田(2年)

3回戦 25.7.16 於：八王子市民球場

八王子 0 0 0 0 0 0
国士館 1 1 2 5 1× 10 (5回コールド)

投手—捕手：末吉(3年)—柴田(2年)

八王子学園同窓会

事務局

〒193-0931

東京都八王子市台町4-35-1

八王子学園八王子中学校・高等学校内

TEL 042-623-3461

FAX 042-626-5646

URL <http://www.hachioji.ed.jp/>